

2006 年度

科目名 教育実習指導（英語）	対象学科・学年 文学部教福 3 回生 教育教福 3 回生 文学部英語 4 回生	担当者 三木 徹
授業テーマ 中学校と高等学校「教育実習」の意義理解と教職への一体感の形成		
授業の概要と目標 「教育実習」は、大学における教育職員養成課程の諸授業を基盤とし、中学校・高等学校の教育現場にて「教員」候補生として直接的・体験的に実地研修する課業です。本講座では、教育実習を事前・実地（実習）・事後のまとまりと位置づけ、教員としての資質・能力の向上を図るとともに、教職への理解をさらに深め、教職へのより一層の一体感を培うことを目標とします。事前研究として「教育実習の意義・内容・方法」、事後研究では「体験に基づく教職観」に重点が置かれます。		
評価方法 事前指導への参加姿勢、教育実習日誌、教育実習終了報告書を基に、総合的に評価を決定します。		
テキスト プリントを配布します。	著者	出版社
参考書 図書館の指定図書を活用してください。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 教職課程・「教育実習」の意義について考察する。 2. 教育実習の場・「中学校・高等学校」の営みについて知る。 3. 「教育実習」実施前準備オリエンテーション（学校訪問の心得） 4. 資料を基に、学校教育活動と実習生の実務について知る。 5. 教育実習生対象の人権教育研修会（人権教育の推進について学ぶ。） 6. 実習生の心得の確認と中学校・高等学校の学習指導要領の内容理解 7. 板書計画についての説明と実習 8. 教材作成の実習 9. 教室英語の習得 / 指導案作成のポイント解説 10. 中学校・高等学校「教育実習」実地研究（学校教育活動について） 11. 中学校・高等学校「教育実習」実地研究（生徒理解について） 12. 中学校・高等学校「教育実習」実地研究（教科指導について） 13. 中学校・高等学校「教育実習」実地研究（研究授業について） 14. 教育実習日誌と実習終了報告書の作成 15. 自らの教職志向の決意とこれからの大学生活 ・ 昨年度の「英語科教材研究」での課業・活動を踏まえ、それをさらに発展させていく形で事前指導を行ないます。 ・ 指導案作成については、「英語科教材研究」で説明していますので、事前指導では簡単に触れる程度にとどめますが、「教材研究」を履修していない人については個別指導を行ないますので、事前指導時に申し出てください。 各自の英語力を一層向上させるための自宅学習課題にも取り組んでもらいます。		